

お知らせ

記者発表資料 | 平成29年 2月17日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

国営備北丘陵公園管理運営プログラム(案)に関するご意見の募集について

【概要】

国営公園事業においては、公共事業の透明化と計画的な執行を図るため、平成32年度までの整備及び管理運営の方針等に関する「国営公園整備・管理運営プログラム」を策定・公表し、着実な事業の推進を図ることとしています。

このたび、「国営備北丘陵公園管理運営プログラム(案)」を作成しましたので、この案について広く皆様からご意見を伺うため、下記のとおり意見募集を実施いたします。

ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。

【募集期間】平成29年2月20日(月)～平成29年3月10日(金)

【応募方法】別添の「意見募集用紙」にご記入のうえ、

- ・ファクシミリ
- ・電子メール
- ・郵送

のいずれかの方法でご提出ください。

資料の入手方法、応募方法の詳細につきましては、別紙をご覧ください。

＜問い合わせ先＞

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) (平日・昼間)

建政部 都市・住宅整備課長 原 ともひさ (内線 6161)

【担当】建政部 建設専門官 柳 やなぎ だ とも 敏 信 (内線 6163)

【広報担当窓口】広報広聴対策官 さか 坂 まつ 松 (内線 2117)

企画部 環境調整官 や 屋 もと 本 政 はる 治 之 お 男 (内線 3114)

国営備北丘陵公園管理運営プログラム（案）に 関するご意見の募集について

1. 国営公園整備・管理運営プログラムについて

公共事業の推進に当たっては、情報公開に努めるとともに、国民の皆様から公共事業に対する理解を深め、支援を得ていくことが不可欠であるという観点から、全国の国営公園事業について、平成20年度に「国営公園整備プログラム」を策定・公表し、本プログラムに基づき事業を執行して参りました。

そして、今後も引き続き国営公園事業の透明化と計画的な執行を図るため、平成32年度までの整備及び管理運営の方針等に関する「国営公園整備・管理運営プログラム」を策定・公表し、着実な事業の推進を図ることとしております。

なお、本プログラムは、事業の進捗状況などをふまえ、適宜見直していくものです。

2. 意見募集の実施について

国土交通省中国地方整備局では、「国営備北丘陵公園管理運営プログラム（以下、「管理運営プログラム」という。）」の策定にあたり、国民の皆様から、広くご意見を伺うこととしました。

いただいたご意見は、「管理運営プログラム」検討のための資料とさせていただきます。

また、策定した「管理運営プログラム」については、国土交通省中国地方整備局のホームページで公表いたします。

3. 資料の入手方法

国土交通省中国地方整備局及び三次河川国道事務所のホームページからダウンロード（PDF形式）して頂きます。

- ・国土交通省中国地方整備局建政部：http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/kensei/machisuma_jouhou.htm
- ・三次河川国道事務所：<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/bosyu/index.html>

4. 応募方法について

別添の「意見応募用紙」にご記入の上、以下のいずれかの方法でご提出下さい。

(1) ファクシミリの場合

FAX番号：082-511-6199

国土交通省中国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課 公園係あて

応募締切：平成29年3月10日（金）17時まで

(2) 電子メールの場合

電子メールアドレス：kenseibu@cgr.mlit.go.jp

応募締切：平成29年3月10日（金）17時まで

(3) 郵送の場合

〒730-0013 広島市中区八丁堀2-15

国土交通省 中国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課 公園係あて

応募締切：平成29年3月10日（金）必着でお願いします。

※お電話によるご意見は受け付けておりませんので、ご了承ください。

5. ご意見の取り扱い

(1) いただいたご意見は、「管理運営プログラム」の検討目的以外の用途には使用いたしません。

(2) いただいたご意見に対しての個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。

(3) いただいたご意見は、個人が特定されない情報として、ホームページで公開させていただく場合があります。

6. 今後の主な予定

2月20日～3月10日 ご意見受付

3月10日～3月下旬 ご意見取りまとめ

3月末 「管理運営プログラム」の公表

7. お問い合わせ先

【ご意見募集・応募について】

国土交通省 中国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課 公園係

電話：082-221-9231（代表）

【管理運営プログラム（案）の内容について】

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所 国営備北丘陵公園分室

電話：0824-72-5000（代表）

※お問い合わせは、意見募集期間中の9時から17時までの間（土曜日、日曜日を除く）に受け付けています。

(別添)

整理番号※: _____

※記入不要です

国土交通省中国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課 公園係 あて
FAX番号:082-511-6199

「国営備北丘陵公園管理運営プログラム(案)」に対する意見応募用紙

（ふりがな） 氏 名	※必須ではありません
年齢	※該当する箇所の□にレ印を付けてください。 □20歳未満 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70歳以上
性別	※該当する箇所の□にレ印を付けてください。 □男 □女
住所	※都道府県名と市区町村名をお書きください。 都 道 府 県 市 区 町 村
職業	※該当する箇所の□にレ印を付けてください。 □会社員 □自営業 □公務員 □主婦 □学生 □無職 □その他()
公園の 利用回数	※国営備北丘陵公園を利用されたことがありますか。 該当する箇所の□にレ印を付けてください。 □ない □1回 □2～4回 □5～9回 □10回以上
ご意見	

※印部の記入については、必須ではありません

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に則り、「国営備北丘陵公園管理運営プログラム」検討のため、厳正な管理により取り扱います。

国営備北丘陵公園管理運営プログラム（案）

平成 29 年 2 月

国土交通省 中国地方整備局

目 次

1. 全体計画及び開園状況

(1) 全体計画	1
(2) 基本テーマ	1
(3) 供用の経緯	2
(4) 園内の主な施設	3
(5) 利用状況	4
(6) ストック効果	5

2. 平成32年度までの管理運営方針

(1) 重点事項	7
(2) 管理運営方針	7

3. 事業効果

11

4. おわりに

11

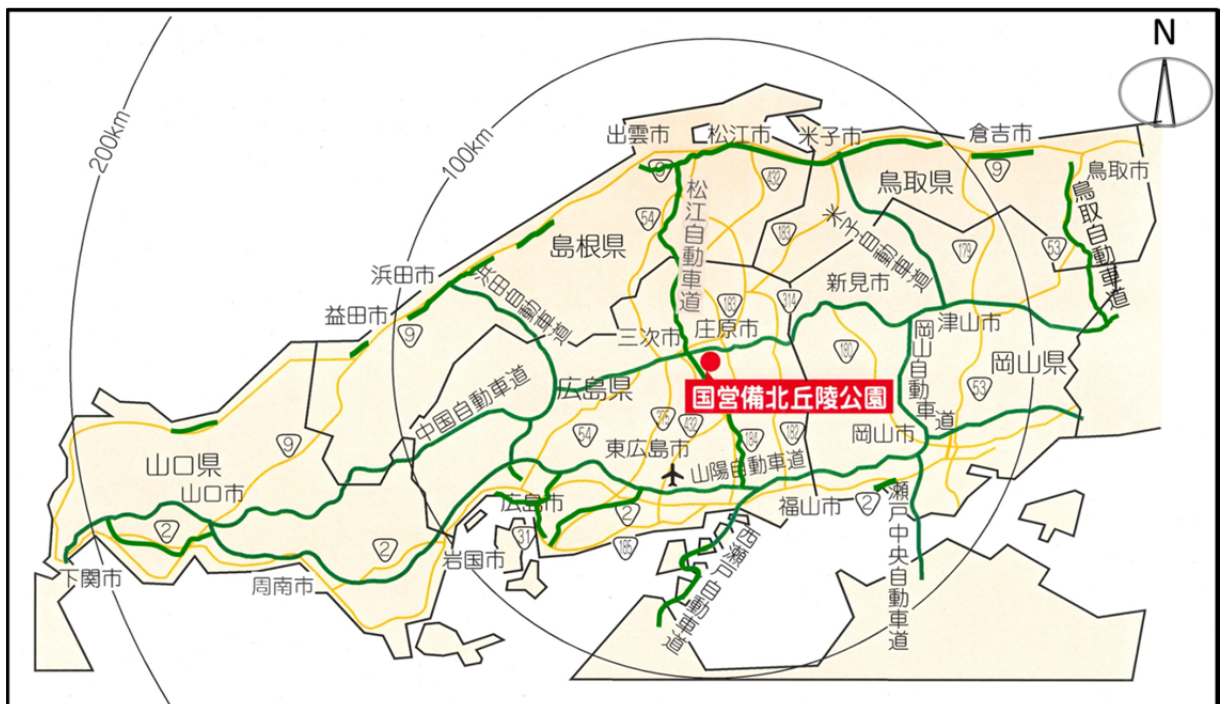
1. 全体計画及び開園状況

(1) 全体計画

本公園は、中国地方のほぼ中央部の広島県庄原市に位置し、県内最大のため池である国兼池と緑豊かな丘陵地を有する全国で 11 番目、中国地方では初めての国営公園（全体面積約 340ha）として、昭和 57 年度に事業を開始しました。

周辺には「七塚原高原」や「みよし風土記の丘」、さらには「帝釈峡」などの文化・教養・観光施設があること、また中国縦貫自動車道、中国横断自動車道（中国やまなみ街道）を軸とした高速道路網により各主要都市圏と結ばれていることから、広域的なレクリエーションへの対応に適した場所に位置しています。

【位置図】



(2) 基本テーマ

備北地方のたおやかな景観と風土を生かし、「ふるさと・遊び」を基本テーマに、周辺環境との調和と連携を図り、森と湖に囲まれた緑豊かな自然の中で、地域の歴史・伝統文化とのふれあいや多様なレクリエーション活動を通じて、人間性の回復と向上の場となる公園を目指し、以下の通り公園整備の基本理念を定めています。

【基本テーマ】ふるさと・遊び

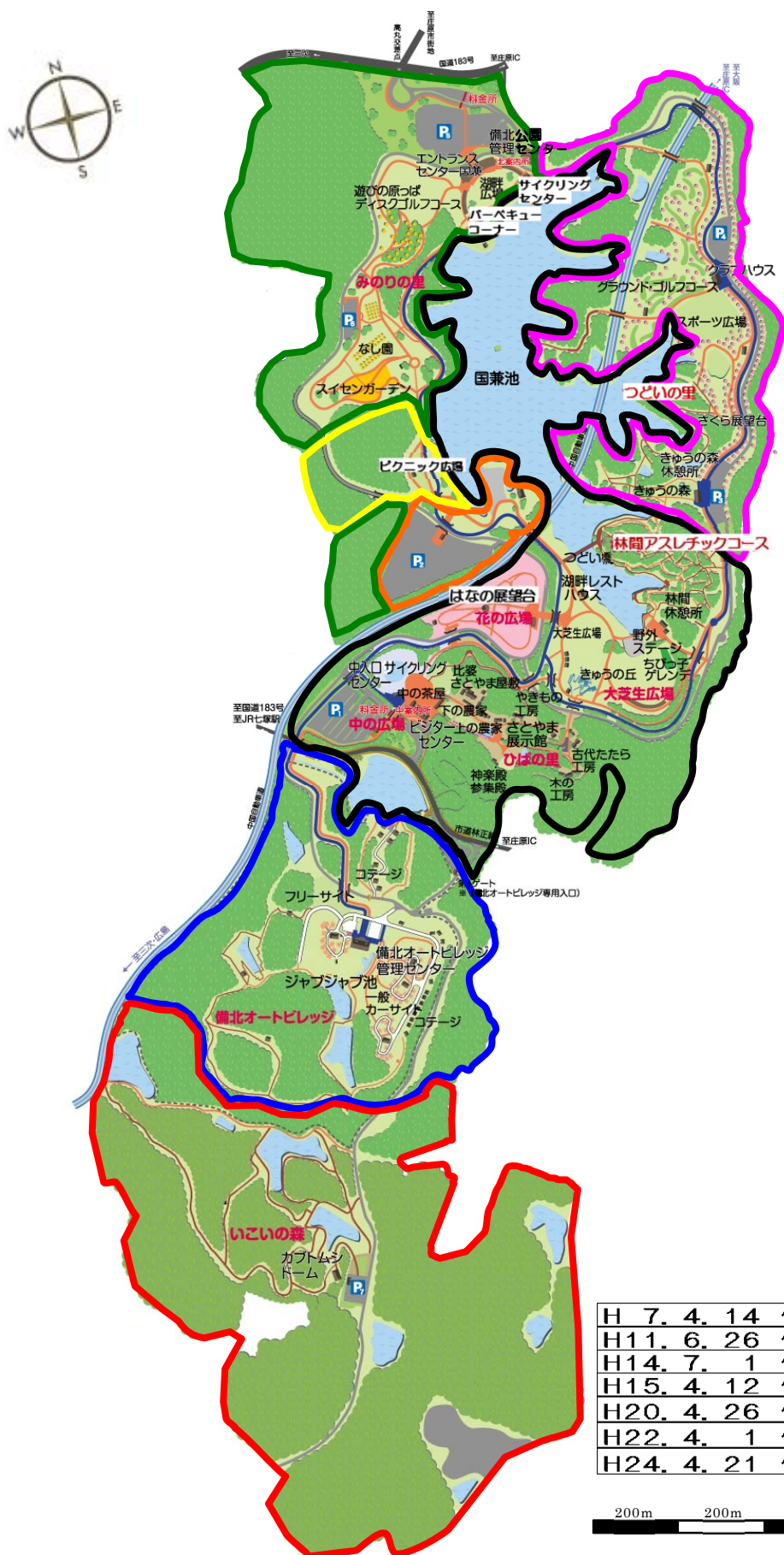
【基本理念】

- ① 緑豊かな自然へのいざない
- ② 中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ③ 多様なレクリエーションへのしだしみ
- ④ 周辺環境とのつながり

（３）供用の経緯

本公園は、昭和 57 年度に事業着手し、平成 7 年 4 月に「中入口センターエリア」および「ひばの里」80ha を第 1 期開園しました。その後、平成 11 年に「星の里（備北オートビレッジ）」46.5ha、平成 14 年に第二駐車場 3.2ha、平成 15 年に「つどいの里」49.1ha、平成 20 年 4 月に「北入口センターエリア」および「みのりの里」計 43.3ha を追加開園してきました。

平成 24 年 4 月には「いこいの森」109.3ha の追加開園を行い全園開園となりました。



(4) 園内の主な施設

本公園は、6つのエリアと2つのセンターエリアで区分されており、各エリアには、四季折々の花を楽しむことができる「花の広場」、8haの広大な面積を有する「大芝生広場」、週末には多くの子どもでにぎわう「大型複合遊具“きゅうの丘”」、「空想冒険遊具“きゅうの森”」、「林間アスレチックコース」等の遊戯施設、平日でも多くの利用者でにぎわう「グラウンドゴルフコース」等、子どもから大人まで楽しめる多数の施設が整備されています。

【園内の主な施設】

エリア名称	施設名称
中入口センターエリア	ビジターセンター、中の茶屋、棚田、花の広場 サイクリングセンター、バーベキューハウス
北入口センターエリア	エントランスセンター国兼、ドッグラン 湖畔広場、サイクリングセンター
ひばの里	さとやま屋敷、神楽殿、参集殿、さとやま展示館 上の農家、下の農家 やきもの工房、木の工房、鉄の工房
水辺の里国兼池	国兼池
つどいの里	グラウンドゴルフコース、林間アスレチックコース きゅうの森、大芝生広場「きゅうの丘」
みのりの里	スイセンガーデン、なし園
星の里(備北オートビレッジ)	オートキャンプ場、コテージ、じゃぶじゃぶ池
いこいの森	カブトムシドーム、散策路
園内全体	サイクリングコース



星の里 オートキャンプ場



中入口センター-エリア 花の広場



水辺の里国兼池 カヌー体験



いこいの森 カブトムシドーム



ひばの里 農家

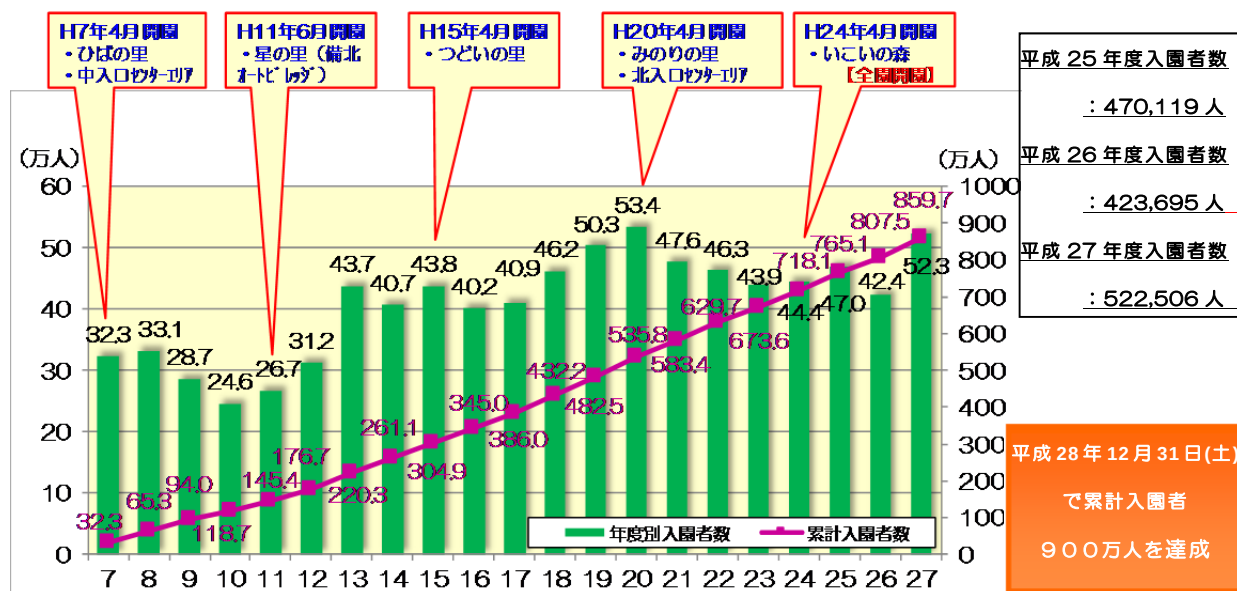


つどいの里 きゅうの森

(5) 利用状況

開園当時である平成7年度の入園者数は年間約32万人でしたが、その後の追加開園やニーズに対応した各種イベントの開催等により、平成27年度は、年間約52万人の方に利用していただき、平成28年12月末で累計入園者数が900万人に達するなど、中国地方におけるレクリエーション施設として、また観光拠点のひとつとして多くの方にご利用いただいています。

【年間入園者数の推移】



春まつり



夏まつり



秋まつり



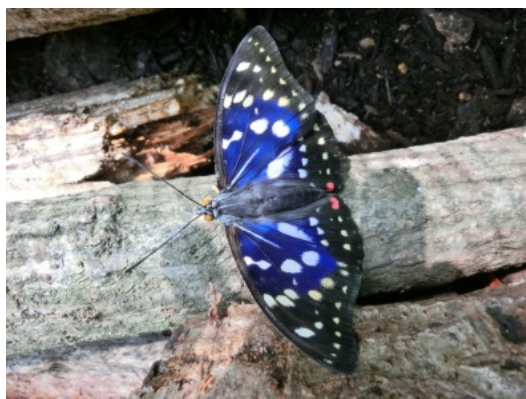
ウィンターイルミネーション

（６）ストック効果

１）自然環境保全

本公園は、地域の里山環境や、県内最大のため池である国兼池の景観を活かした計画・整備を行ってきており、生物多様性保全上重要な里地里山（環境省 2015.12）にも選定されています。

さらに、園内で平成10年に生息が確認された国蝶オオムラサキ（準絶滅危惧種）の保全、中国地方の里山を象徴するササユリの群生復原、県立広島大学と連携した貴重植物ヒゴタイ（絶滅危惧Ⅱ類）の保全、中国横断自動車道尾道松江線整備時に確認された貴重植物エヒメアヤメ（絶滅危惧Ⅱ類）の移植など、豊かな自然環境を生かした希少植物の生育場を提供、保全を行っています。



【公園内で成虫となったオオムラサキ】



【エヒメアヤメの保全】

２）歴史文化の保全活用

本公園では、100年前の農村景観や農作業を再現したエリアを整備し、昔の生活を再現した空間を提供しています。また、日本古来の製鉄法である「たたら製鉄」や、「田植え体験」、「稲刈り体験」、「わら細工体験」など、地域の年中行事を来園者に参加していただける様々な体験プログラムとして一年を通して提供し、地域の文化の保存・伝承を行っています。



【鉄づくり体験の様子】



【わら細工体験の様子】

3) 観光振興

本公園は、野外ライブ、花火大会、音楽コンサート、スポーツ大会など、中国地方を代表する大規模イベントから地域に密着したイベントまで多数のイベントの開催場所となっています。

また、冬季には、インターネットや雑誌の人気ランキングで高い評価を得ているイルミネーションを開催しており、毎年非常に多くの来園者でにぎわっています。

本公園では、豊かな自然環境、多様なレクリエーション、質の高いサービスの提供等によって、毎年多くの方に来園していただき、地域観光にも大きく貢献しています。



【大規模音楽イベントの様子】



【花火大会の様子】

4) 防災性向上

本公園は、庄原市地域防災計画において指定緊急避難場所として指定されています。

また、庄原市、市消防団、消防署、警察署、地元住民等が合同で実施する庄原市総合防災訓練や避難訓練の場として使用されるなど、地域の防災性向上に寄与しています。



【庄原市総合防災訓練の様子】



【避難訓練の様子】

5) ボランティアの育成

本公園では、周辺地域住民のボランティア活動による地域文化を継承するイベントや園内ガイド等を展開することによって、来園者と地域とのふれあいの場を提供しています。



【地域子ども達と一緒に森の手入れ】



【ボランティアによる水鳥観察会】

2. 平成32年度までの管理運営方針

(1) 重点事項

平成32年度までは、本公園の基本理念を踏まえ、豊かな里山の有する歴史文化、自然を活用し、以下を重点事項として管理運営を推進します。

- 中国地方の歴史文化の保存・継承及び自然環境の保存・活用を図るため、体験学習の場の提供と体験プログラムの充実を図ります。
- 中国横断自動車道(中国やまなみ街道)効果を活かした広域観光の促進に貢献します。
- 協働による公園管理を通じた地域の担い手の養成を図ります。
- 誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを進めます。

(2) 管理運営方針

地域の方々や公園の利用者との協働により、誰もが安心して利用できる公園の管理運営を進めます。公園での交流を通じた地域の自然、歴史文化の保存・継承や中国横断自動車道（中国やまなみ街道）効果を活かした広域観光を推進し、地域の活性化に貢献します。

1) 中国地方の豊かな歴史や伝統文化の保存・継承の推進

○里山環境ではぐくまれた歴史・伝統文化の保存、継承の取組を推進

- ・中国山地でかつて行われていた日本古来の製鉄法である「たたら製鉄」の再現や古代米づくり、里山の四季の演示（服装・食べ物・暮らしぶり・年中行事など）を通じて、地域の歴史や伝統文化の保存・継承の取組を推進します。また、関連団体と連携して広域的に情報発信します。



【国選定技術者・ボランティア等の協力による「古代たたら鉄づくり体験」】



【地元保育所等の体験プログラム】

2) 自然環境の保全・活用と循環型社会の構築の推進

○里山の多様な自然環境の保全、活用の取組を推進

- ・国蝶であるオオムラサキをはじめ、多様な動植物が生息・生育できるような自然環境の保全、復元を進めるとともに、地元小学校等課外授業の学習の場を提供し、環境保全に対する関心を高める取組を推進します。
- ・公園内で発生したせん定枝や除草した草をチップ化、堆肥化して再利用する取組を引き続き行い、循環型社会の構築に貢献します。



【地元小学校と協働で整備した
ビオトープでの生物調査】



【オオムラサキの保護・繁殖の取組】

3) 連携による広域観光の推進、地域の活性化

○連携した効果的な広報を実施し、広域観光の取組を推進

- ・中国地方の観光情報の発信や企画展示を行うなど、中国地方の多様な観光資源を公園の利用者に発信するとともに、中国横断自動車道（中国やまなみ街道）沿線施設と連携した効果的な広報を実施し、広域観光を推進します。
- ・増加するインバウンド需要を取り込むため、地域と連携して海外に向けた PR 活動を積極的に推進し、地域観光振興に貢献します。
- ・庄原市、地元団体、NPO や民間企業など、地域との連携による交流イベントの開催等により、地域の活性化に貢献します。
- ・北入口センターエリアのエントランスセンター国兼を地域の情報発信の場や地域と公園来園者との交流人口の拡大による地域活力の向上の場として活用することを目的とした検討を実施し、地域の活性化を支援します。



【庄原市との共催による地域交流イベント
「さとやま夢まつり」】



【庄原市との共催による地域交流イベント
「こどもまつり」】

4) 協働による公園管理を通じた地域の担い手の養成

○地域住民や公園利用者等との協働による公園管理を推進

- ・地元住民との協働による花壇づくり、いこいの森散策ガイドボランティアなど、多様な主体が公園づくりに参加できる取組を充実することで、参加型の公園管理の仕組みづくりを進めるとともに、地域づくりに主体的に取り組む担い手の養成に貢献します。



【ガイドボランティアによる自然観察会】



【ボランティアによる花壇づくり】

5) 安全で安心な公園づくりの推進

○誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを推進

- ・長寿命化計画に基づき、計画的かつ効果的な施設の補修・改修を実施し、施設の長寿命化をはかることにより、ライフサイクルコストの平準化に努めます。特に、老朽化が進行している展望台は早期に再整備します。再整備にあたっては、木材の利用の促進に努めます。
- ・遊具などの利用案内や巡視・点検を適切に行い、安全管理を徹底します。
- ・車椅子利用者の方も快適に利用できるルートを拡大します。
- ・ホームページや公園マップ、ガイドマップ、案内サインの多言語化、園内での Wi-Fi 環境整備を進めるなど、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、近年増加するインバウンドにも対応し、訪日外国人旅行者を含めた誰もが安全で安心して利用できる公園づくりを推進します。
- ・庄原市の緊急避難場所に指定されており、地震等の災害発生時に来園者及び周辺住民の方を受け入れる環境を引き続き維持・向上することで、地域の防災性向上に寄与します。



【バリアフリーに配慮した再整備を
計画している展望台】



【シルバー・障害者等優先の
無料園内移動施設】

6) 更なる入園者数増加に向けたイベントの展開

○四季を通じた多彩なイベントを開催し、更なる入園者数の増加を図る

春  【春まつり】 花の広場では、約280万本の春の花が楽しめます。	夏  【夏まつり】 いこいの森カブトムシドームの中で、沢山のカブトムシと触れ合えます。
秋  【秋まつり】 花の広場のメインエリアでは、約200万本もの様々な品種のコスモスが楽しめます。	冬  【ウインターイルミネーション】 冬の夜空をイルミネーションの光があたたく包み込みます。

7) 積極的な広報展開

○効果・効率的な広報の取組を推進

・四季を通じた多彩なイベントの開催時においては、マスメディアへのタイムリーな情報発信や、チラシ、ポスター、リーフレットの配置・配付を行うとともに、地元自治体や他の観光施設と連携した広報活動を実施します。また、ホームページに加え、SNSでの積極的な情報発信を実施します。



【SNSによる情報発信】



【マツダスタジアムにおけるPR活動】

なお、管理運営の実施にあたっては、引き続きサービス向上を図りながら、利用者の安全確保、コストの縮減に努めます。

3. 事業効果

①中国地方の豊かな歴史や伝統文化の保存・継承

- ・中国山地でかつて行われていた古代たたら鉄づくりの再現や古代米づくり、往時の農家の生活などの実演や体験プログラムにより、中国地方の特徴である里山環境ではぐくまれた歴史・伝統文化の保存・継承を図ることができます。

②自然環境の保全・活用・循環型社会の構築の推進

- ・里山の多様な自然環境の保全、活用の取り組みを推進することで、貴重な生物種の保全を図ることができます。
- ・公園内で発生したせん定枝や除草した草をチップ化、堆肥化して再利用する取り組みを行い、循環型社会の構築に寄与します。

③連携による広域観光の推進、地域の活性化

- ・中国地方の観光情報の発信や企画展示を行い、中国地方の多様な観光資源の発信に寄与します。
- ・庄原市、地元団体、NPO や民間企業など、地域との連携による交流イベントの開催により、地域の活力を創出します。
- ・国内外からの来園者が増加することにより、地域経済等の活性化に寄与します。

④地域の担い手の養成

- ・多様な主体が公園づくりに参加できる取り組みを充実することで、ボランティア団体等の参加型の公園管理の仕組みづくりを進めることにより、地域づくりに主体的に取り組む担い手の養成に貢献します。

⑤安全で安心な公園づくり

- ・巡視・点検を適切に行い、安全管理の徹底を図ることで、利用者が安全かつ安心して利用できる公園となります。
- ・公園施設を対象に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、計画的かつ効果的な施設の補修・改修を実施することにより、ライフサイクルコストの縮減を図ることができます。
- ・庄原市の緊急避難場所に指定されており、地震等の災害発生時に来園者及び周辺住民の方を受け入れる環境を維持・向上し、地域の防災性向上に寄与します。

4. おわりに

なお、本プログラムは、公園を巡る社会情勢の変化等を踏まえ、適宜見直しを行っています。